



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子485名 女子459名 計944名

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



言ったようにはやらない やったようにやる ～ 笑顔が戻ってきた ～

校長 石井 宏明

学校再開から1か月。やっぱり、子供たちが先生や仲間とともに学ぶ姿っていいなあ。毎日が楽しくなってきました。

「やったあ!」「かわいい!」

観察するために育てていたモンシロチョウのサナギが羽化した時の3年生。

子供たち以上に、アオムシの時からずっとキャベツへの水やりなどの世話をしてきた主幹教諭の方が、大喜び。(名前は「ミドリ」ちゃん、名付けると愛情が増します)

「俳句には、自信があるんです。だってプレパト(某TV番組)の夏井いつき先生、よく見てるから。」(5年生国語)なるほど、A4用紙に季語から始まるなかなかの秀作。しかも、色鉛筆で絵まで添えて。「絵手紙もいけるね。」

「おはようございます。おはようございまあす。」マスク越しでも、しっかりとあいさつ。正門前の生活委員会のあいさつ運動。担当教師が、「3密」を回避するため、担当人数を制限して実施。やはり校長だけの時より、登校する子供たちの笑顔が多い?

中には、「校長先生、ハイタッチ、いいんですか?」と6年生男子。

ミッキーマウスの手袋を毎日、毎回消毒はしているものの、次の子からグータッチに。(子供の方が意識高い。まいったなあ。うれしい悲鳴。)

心配していた給食の後片付け。配膳室で密集しないように、放送による分散に。

1週間も経たないうちに、とてもスムーズにできている。

毎日くり返すと、あっという間にできるようになってしまいます。しかも、私の予想以上に。子供ってすごいなあ。

新型コロナウイルス対応も、マイナス面だけではないことを教職員からも教えてもらった。

「マスクをしているせいか、子供たちと今まで以上に目が合うようになりました。」

「分散登校を経てからの全員登校のため、1年生が初めから落ち着いて学校生活を送っています。」

「給食当番も輪番にしないため、配膳や片付けが早く、確実にできています。」

「(無駄な)私語がほとんどないため、子供たちのつぶやきが聴き取りやすくなったり、考える活動や書く活動に集中している。」(でも、笑い声がよおく聞こえてきますよ。)

様々な制限がありながらも、子供たちがいきいき、のびのびと学んでいく姿、成長していく姿に、今さらながら教えられ、学ぶことの多かった6月でした。

ふと、初任の時の池田和夫校長先生の言葉を思い出します。

「石井なあ、〇〇と子供は言った通りにはならないんだよ。やった通りになるんだよ。」

言葉だけで子供を動かしがちだった当時の自分が、人を育てるとはどういうことかを改めて考えるきっかけとなった言葉でした。

笑顔で学ぶ子供たちの姿の裏にあるご家庭の皆様や教職員の努力にも感謝、感謝。

さあ、今日から7月。心が熱くなる出来事がたくさん見られそうで、楽しみです。